

間違いのない入稿データ作り [PDF 書き出しプリセット設定]



Illustrator/InDesign/Photoshop 共通

入稿用 PDF とは？

PDF とは、元々出力用に PostScript で書かれたオブジェクトを画面で確認するためのものとしてアドビが開発したファイル形式です。現在はオープンソースとなり、OS や環境に関わらず、PC で作成したデータのやりとりが可能な汎用性の高いファイル形式として、多くの企業やアプリケーションに採用されています。

シオンに採用されています。

PDF にはデータをやり取りする用途に合わせ、国際標準化機構 (ISO) にて定められた規格があります。その中で印刷用途として定められているものが PDF/X です。

PDF/X とは？

PDF/X は、出力上の問題を引き起こす原因となるカラー、フォントおよびトラップ値の多くを除去するためのグラフィックコンテンツ交換用の ISO 標準規格 (ISO32000) です。出力のためのデータ制作において、合理的なワークフローを実現することができます。PDF/X にもいくつかの種類があります。現在日本の印刷業界で主流なのは PDF/X-1a です。従来の EPS ファイルと同様に CPSI 系の RIP からの出力を行なうため、多くの印刷会社が採用しています。PDF/X-3 はベースは PDF/X-1a と同じですが、RGB カラーに対応しています。PDF/X-4 は、透明効果が使用された RGB ワークフローや文字の品質向上を主な目的として、透明効果を保持したままの PDF 運用を前提としています。PDF/X-1a や PDF/X-3 の後継の規格として生まれました。

印刷会社が採用しています。PDF/X-3 はベースは PDF/X-1a と同じですが、RGB カラーに対応しています。PDF/X-4 は、透明効果が使用された RGB ワークフローや文字の品質向上を主な目的として、透明効果を保持したままの PDF 運用を前提としています。PDF/X-1a や PDF/X-3 の後継の規格として生まれました。

規格	PDF ver.	カラーモード	透明
PDF/X-1a	PDF 1.3	CMYK+ 特色	分割・統合
PDF/X-3	PDF 1.3	RGB+CMYK+ 特色	分割・統合
PDF/X-4	PDF 1.4 ~	RGB+CMYK+ 特色	○



PDF/X-4 と Adobe PDF Print Engine

最新の RIP 技術が Adobe PDF Print Engine です。従来の CPSI 系の RIP が PostScript を処理するのに対して、Adobe PDF Print Engine は PDF をダイレクトに処理することができます。

PDF を作成する事なく、一つの PDF であらゆるデバイスに最適な処理を行うことができます。要は印刷会社に渡す前に透明分割や CMYK の処理を行わず、ネイティブデータ同様に印刷会社の RIP にあわせてダイレクトで出力ができるようになります。そのため、透明の分割・統合処理などを行わず出力ができるため、従来のフローに比べると圧倒的に処理時間が短縮できます。

PDF をダイレクトに処理する事で、透明効果の分割処理や RGB 画像の CMYK 変換などデバイスに依存した処理も RIP 内部で行うことができます。これは、あらかじめ透明の分割処理や CMYK 変換が必要な PDF/X-1a とは全く異なり、デバイス依存のない (Device Independent) PDF を運用することになります。

このような処理が可能になる技術が Adobe PDF Print Engine であり、デバイス依存のない PDF を規格化した PDF/X-4 を運用することで、そのメリットを活かすことができます。

デバイス依存のない PDF を運用することで、POD (Print On-Demand) 運用などの、柔軟な印刷形態に対応でき、デバイスごとに最適化した



PDF/X-4 運用

今や、ハイエンドな印刷は PDF 作成を基準としての運用が標準になっていますし、デザイナーの多くはよりデザイン性の高いデータ作成にドロップシャドウや乗算といった透明効果を利用しています。信頼できる PDF 印刷出版ワークフローには、前述のように最適な PDF ファイル形式とし

て PDF/X-4 を使用することをお勧めします。EPS などの PostScript を介するものではなく PDF のダイレクト出力が推奨運用となります。ダイレクト出力で安定した高速な運用を Creative Cloud 提供のアプリケーションがお手伝いします。

PDF 書き出しプリセットとは？

PDF に書き出せばなんでも印刷に適しているわけではありません。デザインや出力先の RIP の対応により最適な設定を選ぶ必要があります。そのために、アドビのアプリケーションでは、あらかじめ用途に応じた PDF が書き出せるようにプリセットを用意しています。

PDF プリセットとは、カラーやフォント、画像の解像度など、PDF 作成処理に影響を与える設定をまとめたものです。これらの設定は、PDF の使用方法に従って、ファイルサイズと品質とのバランスをとるように設計されています。定義済みのプリセットのほとんどは、Illustrator、InDesign、Photoshop などの Creative Cloud アプリケーション間で共有されます。また、独自の出力要件に合わせてカスタムプリセットを作成および共有することもできます。保存される PDF プリセットファイルには、拡張子

.joboptions が付いています。

PDF 文書を作成するときに選択する PDF プリセットは、ドキュメントの用途によって異なります。Creative Cloud に付属のデフォルトでインストールされる PDF プリセットには、「最小ファイルサイズ」、「高品質印刷」「プレス品質」、「雑誌広告送稿用」、「PDF/X-1a:2001 (日本)」、「PDF/X-3:2002 (日本)」、「PDF/X-4:2008 (日本) (規格は PDF/X4:2010)」があります。

プリセットの詳細設定について

「PDF と出力の手引き」をご参照ください。

<http://adobe.ly/1s3KiFk>



推奨する PDF 書き出しプリセット設定

先日の第 2 回印刷業界意見交換会より要望のあった、安定した PDF 書き出しのためのプリセットを、主要な RIP メーカーの一つである株式会社 SCREEN グラフィックアンドプレジジョンソリューションズ (以下、SCREEN) にご協力いただき用意しました。

右記の Web サイトからダウンロードし、Illustrator、InDesign、Photoshop で読み込みご使用ください。

プリセット設定のダウンロード

SCREEN | 出力の手引き Web

http://www.screen.co.jp/ga_dtp/dtp/guideline16/20150327_joboptions.html

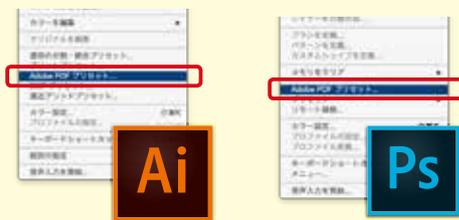
※なお、この設定が 100% 完全な出力を保証するものではありません。



プリセットの読み込み方

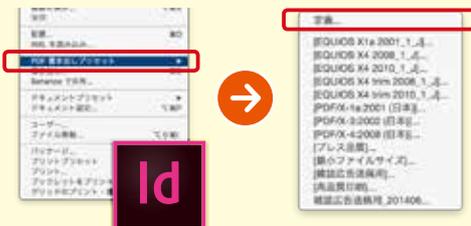
▶ Illustrator/Photoshop 編

[編集]メニュー→[Adobe PDF プリセット]を選択し、ダウンロードしたファイルを指定して読み込む



▶ InDesign 編

[ファイル]メニュー→[PDF 書き出しプリセット]→[定義...]を選択し、ダウンロードしたファイルを指定して読み込む



【透明が多用されているデータを入稿する場合の推奨設定】

PDF/X-4

互換性: Acrobat 7
(PDF 1.6)
ダウンサンプリングなし
(Zip 圧縮)
トリムマーク付



[EQUIOS X4 trim 2010_1_J]...

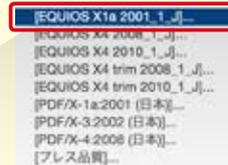


Ai Kawabata's "Scarlet Peony and Courtesan (Oiran)"

【在版データや既存のフローで処理したい場合の推奨設定】

PDF/X-1a

互換性: Acrobat 4
(PDF 1.3)
ダウンサンプリングなし
(Zip 圧縮)
トリムマークなし



[EQUIOS X1a 2001_1_J]...

【注意】印刷・出力会社に入稿する Adobe PDF ファイルを作成する場合は、あらかじめ出力解像度などの設定をどのようにするかを、事前に印刷・出力会社にお問い合わせください。印刷・出力会社によっては、PDF 設定をカスタマイズし、独自の .joboptions ファイルを提供している場合があります。印刷会社ごとの .joboptions ファイルを入手すると確実です。不明な場合は、こちらの推奨の設定をご利用ください。

下記会社様も PDF 書き出しプリセットを使っておの入稿に賛同いただいております。

共同印刷株式会社、株式会社 DNP メディア・アート、東京リスマチック株式会社、キンコース・ジャパン株式会社
株式会社 SCREEN グラフィックアンドプレジジョンソリューションズ